

債務超過解消に向けた取り組みについて

2021年5月14日

東証マザーズ 6181

タメニー株式会社

債務超過に至った経緯（要約）

✓ 上場以降、持続的成長を実現

- ・ 2015年10月上場以降、婚活事業を起点に事業領域拡大
- ・ 2019年4月に **カジュアルWD大手企業をグループ化**
- ・ 上場から5年で売上高倍増、
親会社株主に帰属する当期純利益平均は1.2億円

✓ 新型コロナ影響でカジュアルWD事業が大幅減収減益

- ・ 2020年3月期
 - － 通期業績下方修正、
親会社株主に帰属する当期純利益 期初1.3億円→0.02億円へ
- ・ 2021年3月期
 - － 親会社株主に帰属する当期純利益 △23.1億円
 - － 第三者割当増資で8.3億円調達



2021年3月期に債務超過状態へ

純資産：2020年3月末 **10.2億円**→2021年3月末 **△3.9億円**

債務超過解消に向けた取り組み（要約）

✓ 短期業績回復を実現

- ・ カジュアルWD事業の早期業績回復を実現
- ・ 販売費及び一般管理費の固定費圧縮
- ・ 2022年3月期
親会社株主に帰属する当期純利益 **2.4億円**を計画

✓ 財務基盤強化

- ・ エクイティファイナンスによる資金調達実施
 - － 第9回新株予約権 **0.6億円**（調達済み）
 - － 第10回新株予約権 **6.5億円**（2021年10月迄に調達予定）
- ・ 上記以外にも
手元流動性の確保に向けた資金調達方法を適宜検討



2022年3月期中には債務超過を解消予定

純資産見込み：2022年3月末 **5.5億円**

1. 債務超過に至った経緯

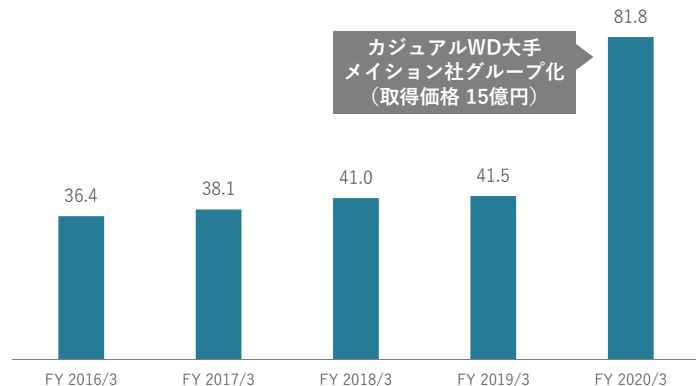
上場来の財務指標推移

2015年10月上場来、持続的成長を実現

売上高の推移

- ・ 2015年10月上場以降、婚活事業を起点に事業領域拡大
- ・ 2019年4月に**カジュアルWD大手企業をグループ化**
- ・ 上場から5年で売上高倍増

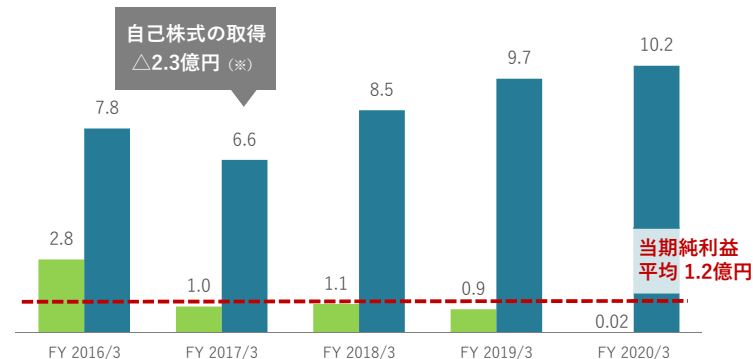
■ 売上高 (億円)



純利益・純資産の推移

- ・ 上場以降、黒字化を堅持し、純資産は基本的に増加
- ・ 上場からの親会社株主に帰属する当期純利益平均は1.2億円、但し、2020年3月にコロナ影響で利益減少

■ 親会社株主に帰属する当期純利益 ■ 純資産 (億円)



※ 「株式給付信託 (従業員持株会処分型)」の導入に伴う信託による当社株式の取得

新型コロナ影響

新型コロナ影響でカジュアルWD事業が大幅減収減益

2020年3月期

- ・ 3Qまで売上未達も利益は概ね計画通り進捗
- ・ 2020年3月に新型コロナ影響でカジュアルWD事業のスマ婚・2次会くんで施行延期・キャンセル発生
 - スマ婚シリーズ施行件数：△44件 平均単価 約230万円
 - 2次会くん施行件数：△183件 平均単価 約45万円
- ・ 上記を主因に期初計画未達

(単位：億円)	期初計画	実績	増減額
売上高	91.0	81.8	△9.1
営業利益	2.3	0.7	△1.5
経常利益	1.7	0.4	△1.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	1.3	0.02	△1.2

2021年3月期

- ・ 新型コロナと累計5カ月間の緊急事態宣言影響で減収減益
- ・ カジュアルWD事業はスマ婚・2次会くんの施行延期・キャンセルと固定費負担（地代家賃・人件費等）で10.8億円赤字
- ・ 婚活事業は1Q赤字も、以降は黒字継続

(単位：億円)	FY 2020/3	FY 2021/3	増減額
売上高	81.8	44.2	△37.5
– 婚活事業	35.6	28.0	△7.5
– カジュアルWD事業	44.2	13.5	△30.6
営業利益	0.7	△21.7	△22.5
– 婚活事業	8.1	2.5	△5.6
– カジュアルWD事業	3.8	△10.8	△14.6
経常利益	0.4	△20.8	△21.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	0.02	△23.1	△23.1

増資による資金調達

第三者割当による第8回及び第9回新株予約権の発行並びに新株式発行により8.3億円を調達

第三者割当による第8回及び第9回新株予約権

- ・新株予約権発行（割当先 EVO FUND）で6.7億円の資金調達実施 ※ 2021年3月31日時点

（第8回及び第9回新株予約権発行概要）

割当日	2020年12月7日
新株予約権数量	50,000個（1個につき100株） － 2021年3月31日時点で45,800個行使済み － 2021年5月7日全行使完了
対象株式数	5,000,000株
行使価格	第8回（2.5万個）：前取引日終値×92% 第9回（2.5万個）：前取引日終値×93%
調達資金額	7.2億円 － 2021年3月31日時点で6.7億円調達済み
行使期間	2020年12月8日～2021年5月7日
割当先	EVO FUND

第三者割当による新株式

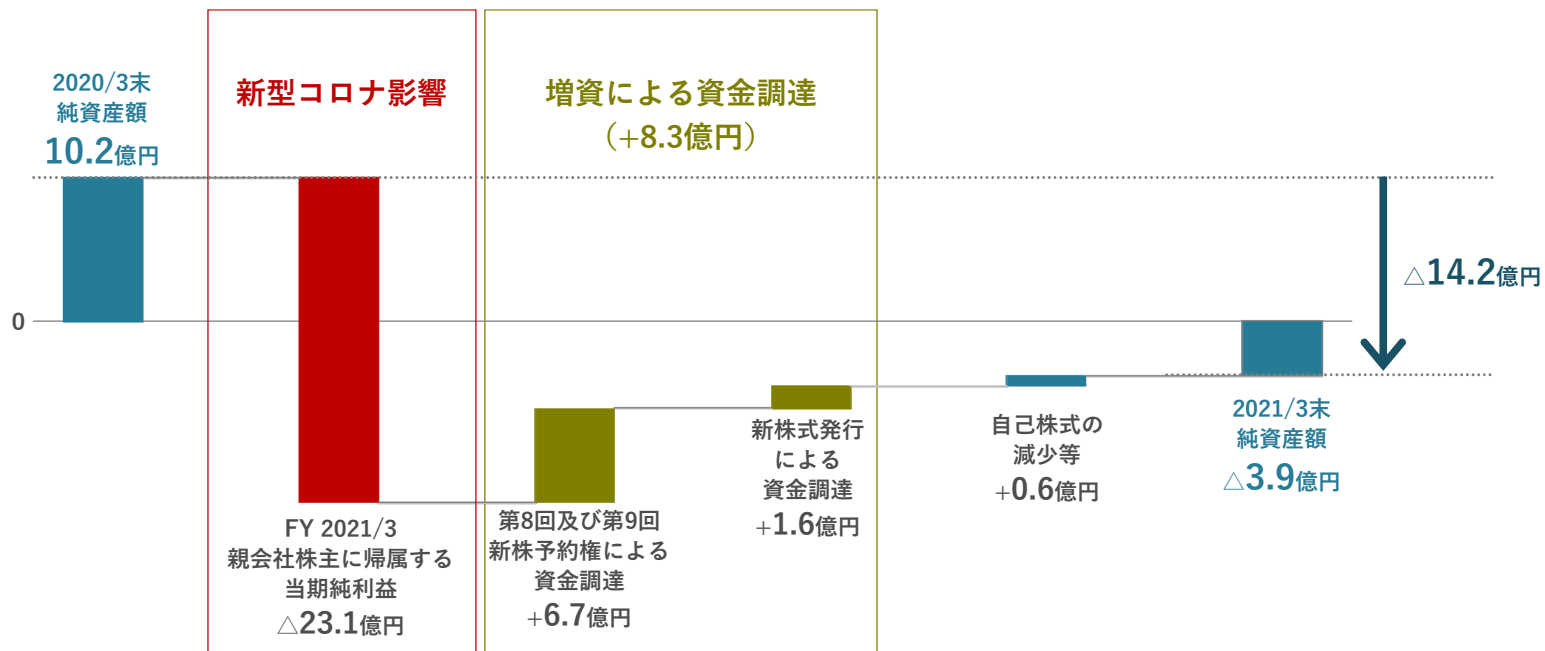
- ・新株式発行（割当先 当社役職員）で1.6億円の資金調達実施

（新株式発行概要）

払込日	2021年3月29日
発行新株式数	997,800株
調達資金額	1.6億円
割当先	当社役職員13名

債務超過に至った経緯まとめ

新型コロナ影響で当期純利益 $\Delta 23.1$ 億円、増資による資金調達 8.3 億円も、 2021 年 3 月末に債務超過状態へ



2. 債務超過解消に向けた取り組み

債務超過解消に向けた取り組みの概要

短期業績回復を実現

✓ カジュアルWD事業の早期業績回復を実現

- ・ 事業ポートフォリオを再構築、固定費圧縮（実施済み）
- ・ 事業構造転換を加速
 - FB主体からNon-FB主体へ移行し安定的な結婚式を提供
- ・ スマ婚シリーズ（挙式披露宴等）はコロナ前水準の施行へ
 - FY2020/3：1,454件 2021/3：540件 2022/3：1,732件

✓ 販売費及び一般管理費の固定費圧縮

- ・ タメニー単体固定費（地代家賃・人件費等）1.4億円を圧縮
 - 2021年3月期 単体固定費：37.6億円
 - 2022年3月期 単体固定費：36.2億円（計画）

（単位：億円）

	FY 2021/3	FY 2022/3	増減額
売上高	44.2	80.0	+35.7
営業利益	△21.7	3.5	+25.2
経常利益	△20.8	2.6	+23.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	△23.1	2.4	+25.5

財務基盤強化

✓ エクイティファイナンスによる資金調達実施

- ・ 第9回新株予約権発行により**0.6億円**調達（実施済み）
 - 2020年12月7日EVO FUNDへ割当、2021年5月行使完了
- ・ 第10回新株予約権発行により**6.5億円**調達（決議済み）
 - 2021年5月31日EVO FUNDへ割当予定
 - 2021年10月25日迄に行使完了予定

✓ 上記以外に

手元流動性の確保に向けた資金調達方法を適宜検討

2022年3月期中には債務超過を解消予定

純資産：2021年3月末 △3.9億円 → 2022年3月末 5.5億円

- ・ 利益剰余金 前期末比+2.4億円
- ・ 資本金及び資本準備金 前期末比+7.1億円

短期業績回復の実現に向けた施策

カジュアルWD事業の早期業績回復を実現

✓事業ポートフォリオを再構築

- 成長領域であるフォトWDへ経営リソース集中（実施済み）
 - 拠点：スマ婚・2次会くん 7拠点統廃合
フォトWD 4拠点新設
 - スマ婚・2次会くん人員約30%をフォトWD等へ再配置

✓事業構造転換を加速

- FB（Food & Beverage：料理及び飲料）主体から Non-FB主体へ移行し安定的な結婚式を提供
 - ※ Non-FB：大規模な披露宴を行わない新たな結婚式（挙式+披露宴→挙式+フォト・映像+ドレス）

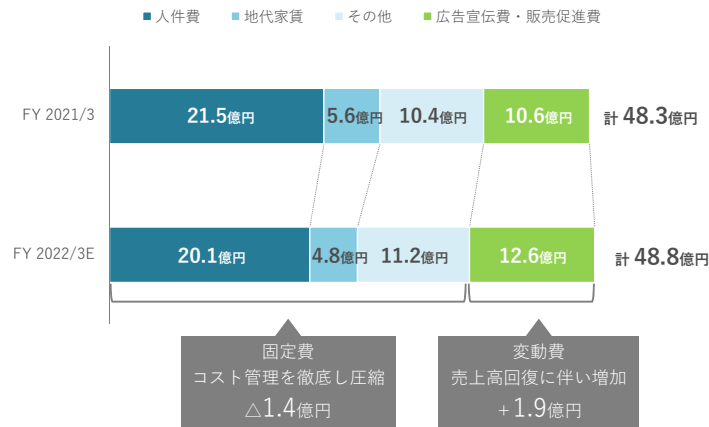
✓スマ婚シリーズ（挙式披露宴等）コロナ前水準の施行へ

スマ婚シリーズ （単位：件）	FY2020/3	FY 2021/3	FY 2022/3E	増減
施行件数	1,454	540	1,732	+1,192
成約件数	1,562	753	2,045	+1,292
受注残件数（期末）	-	538	-	-

販売費及び一般管理費の固定費圧縮

✓タメニー単体固定費1.4億円を圧縮

- 2022年3月期計画の単体の販売費及び一般管理費は2021年3月期と同水準（YoY+1.1%）
 - 人件費・地代家賃その他の固定費を圧縮：YoY△1.4億円
 - なお、広告宣伝費・販売促進費・斡旋手数料等の変動費は売上高回復に伴い増加：YoY+1.9億円



2022年3月期 業績計画

カジュアルWD事業の早期業績回復と販管費圧縮で親会社株主に帰属する当期純利益は2.4億円を見込む

(単位：億円)	2021/3	2022/3	増減額
売上高	44.2	80.0	+ 35.7
－カジュアルWD事業 (※)	13.9	38.6	+ 24.7
営業利益	△21.7	3.5	+ 25.2
経常利益	△20.8	2.6	+ 23.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	△23.1	2.4	+ 25.5

※ カジュアルWD事業は2022年3月期からの新区分としており、2021年3月期の数値も新区分にて算出しております。

財務基盤強化に向けた施策

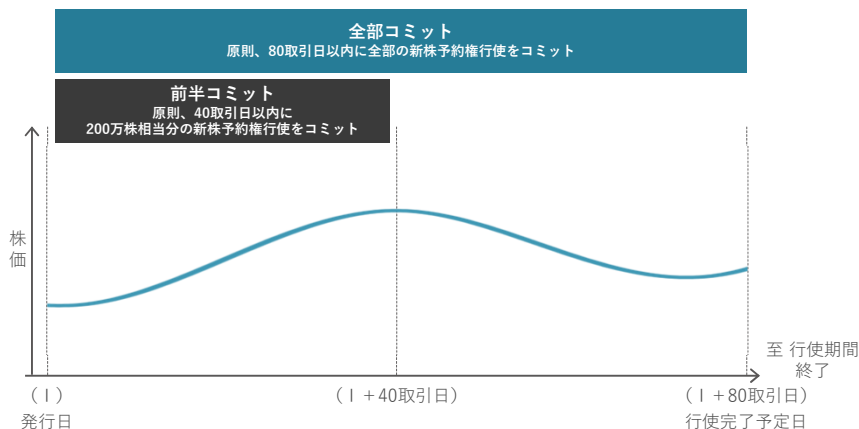
第三者割当による新株予約権発行により7.1億円の資金調達予定

第三者割当による新株予約権

- ・第9回新株予約権（割当先 EVO FUND）で**0.6億円**の資金調達実施 ※2022年3月期行使分（4,200個）
- ・第10回新株予約権（割当先 EVO FUND）を5月14日発行決議、今期中に**6.5億円**の資金調達を予定
※ 割当先が一定期間において全部の新株予約権行使をコミットするコミット・イシュー

（第10回新株予約権発行概要）

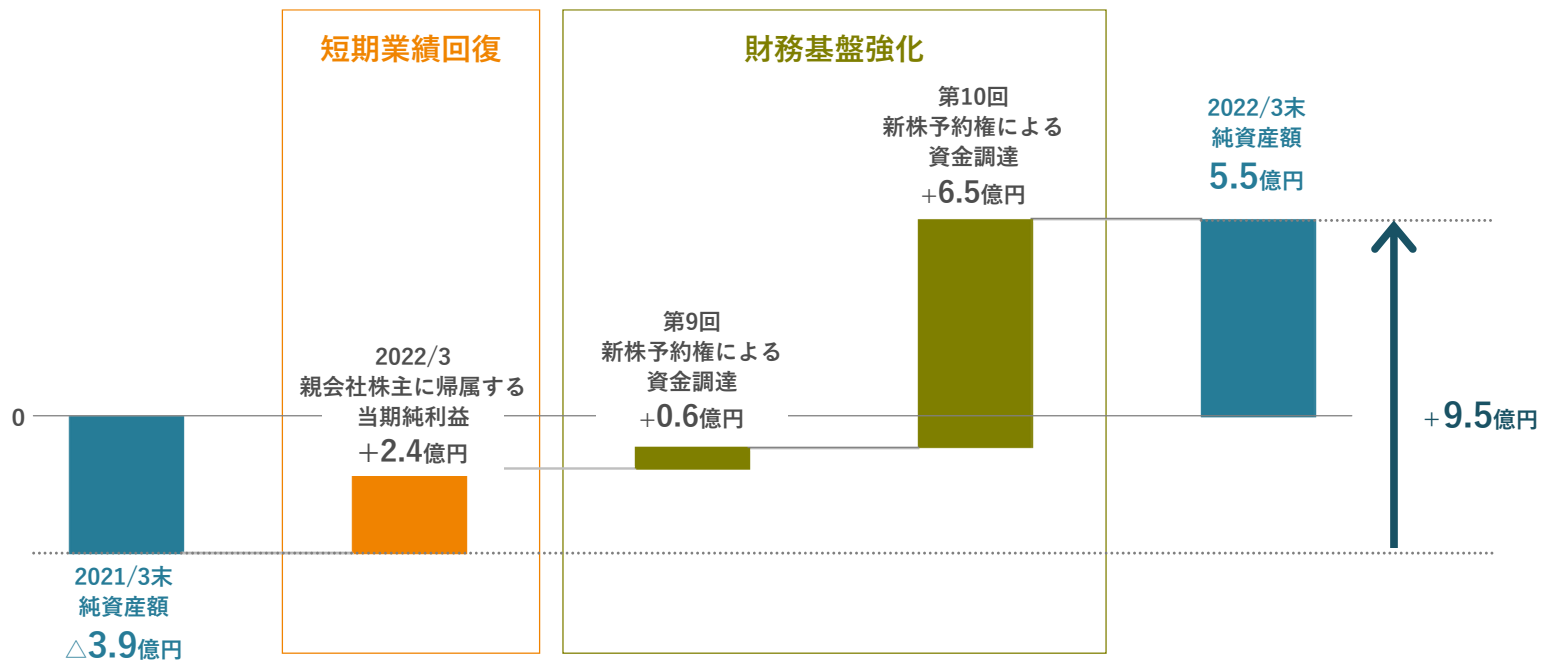
割当日	2021年5月31日
新株予約権数量	50,000個（1個につき100株）
対象株式数	5,000,000株
予約権発行価額	24円
行使価格	前取引日終値×93%
調達予定資金額	6.5億円(差引手取概算額)
行使タイミング	原則、発行日翌取引日より80取引日間
コミット	全部コミット：原則80取引日以内 前半コミット：原則40取引日以内に200万株相当分行使
割当先	EVO FUND



※ 株価についてはあくまで例であってこのような動きを取るものではございません。

債務超過解消に向けた取り組みまとめ

短期業績回復と財務基盤強化で2022年3月期中には債務超過を解消予定



上場廃止基準に係る猶予期間について

2021年3月期の債務超過は、新型コロナウイルス感染症の影響に起因するものであるため、上場廃止基準（債務超過）に係る猶予期間が、1年から2年に延長される見込みです。

なお、当該措置については、6月下旬に提出する有価証券報告書の内容を株式会社東京証券取引所が確認したうえで、正式に決定される予定です。

また、今後におきましては、事業年度末日で債務超過の解消が確認されるまでの間、四半期ごとに当該取り組みに関する報告を実施させていただきます。

免責事項

本資料は、業界動向及び事業内容について、当社グループによる現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。

既に知られたもしくは未だ知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。また、当社グループの実際の将来における事業内容や業績などは、本資料に記載されている将来展望と異なる場合があります。

本資料における将来展望に関する表明は、利用可能な情報に基づいて、当社グループによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。

よりよい人生をつくる。



本件に関するお問い合わせ先

タメニー株式会社 IR担当

〒141-0032 東京都品川区大崎1-20-3 イマス大崎ビル3階

TEL : 03-6685-2800 (IR直通/平日10時~18時)

Mail : ir-contact@tameny.jp